

06 石工



日本古来の石工の形 受け継がれる技を・・・次世代へ

古来石工は山で採石し、石を棺(つち)と鑿(のみ)をもって様々な石造物を加工してきました。現在のような機械化の時代でも原点は手仕事です。



競技概要 競技時間 10時間(1日目6時間/2日目2時間)

社寺建築で使用する沓石(双盤)をイメージしています。



第30回 競技課題

Point

石を上下に分けて、上部は丸味の切り込みと天部のホゾ穴、下部は勾配としています。上部は「小叩き仕上げ」、下部は「ビシャン仕上げ」とし、アール加工・稜線・縁取り加工で美しさの出来栄を競います。



[神社の鳥居]



[春日灯籠(とうろう)]



[観音様]



[おほか]

